

第54回

ミンダナオ島／フィリピン
Mindanao Philippines

ホセ・リサールの足跡を追って

リクルート=スタディサプリ講師 村山 秀太郎

銭湯の一番湯のような透明度は？

これまで私が行った海のうち、最も綺麗な海の色は？と問われたら、沖繩伊良部島の隣の下地島にある空港の滑走路脇から眺める海、と答える。最もまばゆい海岸は？と聞かれたなら、キューバのバラデロのビーチ。銭湯の一番湯のような透明度は？とくれば、フィリピン・ミンダナオ島の Dakak Park and Beach Resort のビーチを挙げる。ある日、マニラ空港でミンダナオ行きフライトに搭乗した時に、空港係員から「おまえはアブ・サヤフ*か!？」と言われた。ミンダナオ島はアル・カーイダとも連携したイスラーム過激派の島でもあった。

*アブ・サヤフ：1991年設立のフィリピン南部を拠点に活動するイスラーム武装勢力。活動目的は「かつてスルレー・スルタン国の支配下にあった」とされる同国の地域にイスラーム国家を設立することで、攻撃対象は、ムスリムの居住していた地域へのキリスト教徒の「入植」を推進しているフィリピン政府。
(出典：公安調査庁「国際テロリズム要覧」(Web版)からの抜粋)

上からのイスラーム化

イスラームが伝来する13世紀以前のミンダナオ島は、アニミズムや祖先崇拜の島だった。イスラームは軍事征服ではなく交易を通じて伝わった。アラブ商人やマレー系イスラーム商人との交易拠点から徐々に浸透し、首長層が改宗、ついで住民へ拡大した。世界史でいう「上からのイスラーム化」の事例である。イスラームは単なる宗教ではなく、政治統合の原理として機



能した。こうしてミンダナオ島はイスラーム世界に組み込まれ、スルレー王国やマギンダナオ王国などのイスラームの王国が誕生した。

ミンダナオ問題の背景

そこへ16世紀以降スペインが入ってきて、国王フェリペ2世にちなみ「フィリピン」と呼ばれることになる。スペインはルソン島など北部フィリピンのカトリック化に成功したが、南部のミンダナオ島ではイスラーム勢力が抵抗した。この対立は「モロ戦争」と呼ばれ、後の宗教対立の原型となった。

米西戦争に勝利したアメリカ統治が開始した1898年以降、キリスト教徒の大量移住政策と新土地制度の導入の結果、イスラーム教徒(モ